

食道切除再建術 リスク計算対象症例

NCD術式1～8のいずれかで、次のNCD術式が選択されている場合
(ただし、NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合は、対象となる消化器外科術式の選択が必須)

・ 2013年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合	特記事項
OQ0027	食道切除再建術(頸部・胸部・腹部の操作)		NCD術式名の変更があるが、NCD術式コードは変更 ないため、FBでは変更なし。
OQ0028	食道切除再建術(胸部・腹部の操作)		
OQ0029	食道切除再建術(腹部の操作)		
NQ0567	頸部食道癌手術	食道切除再建術	2013年術式改訂に伴い追加
OQ0039	食道悪性腫瘍切断術(消化管再建を併う)(頸部、胸部、腹部の操作) (血管吻合を伴わない)	食道切除再建術	NCD術式名の変更があるが、NCD術式コードは変更 ないため、FBでは変更なし。
OQ0040	食道悪性腫瘍切断術(消化管再建を併う)(頸部、胸部、腹部の操作) (血管吻合を伴うもの)	食道切除再建術	
OQ0041	食道悪性腫瘍切断術(消化管再建を併う)(胸部、腹部の操作)	食道切除再建術	
OQ0042	食道悪性腫瘍切断術(消化管再建を併う)(腹部の操作)	食道切除再建術	
OQ0043	食道悪性腫瘍切除術(消化管再建を併う)(頸部、胸部、腹部の操作) (血管吻合を伴わない)(胸腔鏡下)	食道切除再建術	
OQ0044	食道悪性腫瘍切断術(消化管再建を併う)(頸部、胸部、腹部の操作) (血管吻合を伴うもの)(胸腔鏡下)	食道切除再建術	
OQ0045	食道悪性腫瘍切断術(消化管再建を併う)(胸部、腹部の操作)(血管吻 合を伴わない)(胸腔鏡下)	食道切除再建術	
NQ0573	頸部食道悪性切除術(消化管再建を併う)(頸部、腹部の操作)		2013年術式改訂に伴い追加
NQ0574	頸部食道悪性切除術(消化管再建を併う)(頸部、胸部、腹部の操作)		

・ 2012年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合	特記事項
OQ0027	食道切除再建術 1. 頸部、胸部、腹部の操作による		
OQ0028	食道切除再建術 2. 胸部、腹部の操作による		
OQ0029	食道切除再建術 3. 腹部の操作による		
OQ0039	食道悪性腫瘍切断術(消化管再建術を併施するもの) 1. 頸部、胸部、 腹部の操作による(血管吻合を伴わないもの)	食道切除再建術	
OQ0040	食道悪性腫瘍切断術(消化管再建術を併施するもの) 2. 頸部、胸部、 腹部の操作による(血管吻合を伴うもの)	食道切除再建術	
OQ0041	食道悪性腫瘍切断術(消化管再建術を併施するもの) 3. 胸部、腹部の 操作による	食道切除再建術	
OQ0042	食道悪性腫瘍切断術(消化管再建術を併施するもの) 4. 腹部の操作に よる	食道切除再建術	
OQ0043	胸腔鏡下食道悪性腫瘍切除術(消化管再建術を併施するもの) 1. 頸 部、胸部、腹部の操作による(血管吻合を伴わないもの)	食道切除再建術	
OQ0044	胸腔鏡下食道悪性腫瘍切除術(消化管再建術を併施するもの) 2. 頸 部、胸部、腹部の操作による(血管吻合を伴わないもの)	食道切除再建術	
OQ0045	胸腔鏡下食道悪性腫瘍切除術(消化管再建術を併施するもの) 3. 胸 部、腹部の操作による(血管吻合を伴わないもの)	食道切除再建術	

・ 2011年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合	特記事項
OQ0027	食道切除再建術 1. 頸部、胸部、腹部の操作による		
OQ0028	食道切除再建術 2. 胸部、腹部の操作による		
OQ0029	食道切除再建術 3. 腹部の操作による		
OQ0039	食道悪性腫瘍切断術(消化管再建術を併施するもの) 1. 頸部、胸部、 腹部の操作による(血管吻合を伴わないもの)	食道切除再建術	
OQ0040	食道悪性腫瘍切断術(消化管再建術を併施するもの) 2. 頸部、胸部、 腹部の操作による(血管吻合を伴うもの)	食道切除再建術	
OQ0041	食道悪性腫瘍切断術(消化管再建術を併施するもの) 3. 胸部、腹部の 操作による	食道切除再建術	
OQ0042	食道悪性腫瘍切断術(消化管再建術を併施するもの) 4. 腹部の操作に よる	食道切除再建術	
OQ0043	胸腔鏡下食道悪性腫瘍切除術(消化管再建術を併施するもの) 1. 頸 部、胸部、腹部の操作による(血管吻合を伴わないもの)	食道切除再建術	
OQ0044	胸腔鏡下食道悪性腫瘍切除術(消化管再建術を併施するもの) 2. 頸 部、胸部、腹部の操作による(血管吻合を伴わないもの)	食道切除再建術	
OQ0045	胸腔鏡下食道悪性腫瘍切除術(消化管再建術を併施するもの) 3. 胸 部、腹部の操作による(血管吻合を伴わないもの)	食道切除再建術	

NCD消化器外科領域・リスクモデル 計算対象症例の条件

下記の条件を満たす症例について、術後死亡等の発症確率が計算されます。
条件を満たしていない場合は、発症確率は表示されません。

胃全摘術 リスク計算対象症例

NCD術式1～8のいずれかで、次のNCD術式が選択されている場合
(ただし、NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合は、対象となる消化器外科術式の選択が必須)

・ 2015年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0127	胃全摘術(良性)		
OQ0136	胃悪性腫瘍手術(単純全摘)		
OQ0137	胃悪性腫瘍手術(広汎全摘・有茎腸管移植術を伴わない)		
OQ0138	胃悪性腫瘍手術(広汎全摘・有茎腸管移植術を伴う)		
OQ0141	胃悪性腫瘍手術(全摘)(腹腔鏡下)		
NQ0609	胃管切除	胃全摘術(噴門側胃切除を含む)	2015年追加術式
NQ0610	残胃全摘	胃全摘術(噴門側胃切除を含む)	2015年追加術式

・ 2014年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0127	胃全摘術(良性)		
OQ0136	胃悪性腫瘍手術(単純全摘)		
OQ0137	胃悪性腫瘍手術(広汎全摘・有茎腸管移植術を伴わない)		
OQ0138	胃悪性腫瘍手術(広汎全摘・有茎腸管移植術を伴う)		
OQ0141	胃悪性腫瘍手術(全摘)(腹腔鏡下)		

・ 2013年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0127	胃全摘術(良性)		NCD術式名の変更があるが、NCD術式コードは変更ないため、FBでは変更なし。
OQ0136	胃悪性腫瘍手術(単純全摘)		
OQ0137	胃悪性腫瘍手術(広汎全摘・有茎腸管移植術を伴わない)		
OQ0138	胃悪性腫瘍手術(広汎全摘・有茎腸管移植術を伴う)		
OQ0141	胃悪性腫瘍手術(全摘)(腹腔鏡下)		

※下記は削除

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0133	胃悪性腫瘍手術(腹腔鏡による)	胃全摘術(噴門側胃切除を含む)	NCD術式の改定で廃盤となったため

・ 2012年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0127	胃全摘術		
OQ0136	胃悪性腫瘍手術 3. 全摘、単純		
OQ0137	胃悪性腫瘍手術 4. 全摘、広汎 2. その他のもの		
OQ0138	胃悪性腫瘍手術 4. 全摘、広汎 1. 有茎腸管移植術を伴うもの		
OQ0141	腹腔鏡補助下胃悪性腫瘍手術 2. 全摘		
OQ0133	胃悪性腫瘍手術(腹腔鏡による)	胃全摘術(噴門側胃切除を含む)	

・ 2011年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0127	胃全摘術		
OQ0136	胃悪性腫瘍手術 3. 全摘、単純		
OQ0137	胃悪性腫瘍手術 4. 全摘、広汎 2. その他のもの		
OQ0138	胃悪性腫瘍手術 4. 全摘、広汎 1. 有茎腸管移植術を伴うもの		
OQ0141	腹腔鏡補助下胃悪性腫瘍手術 2. 全摘		
OQ0133	胃悪性腫瘍手術(腹腔鏡による)	胃全摘術(噴門側胃切除を含む)	

NCD消化器外科領域・リスクモデル 計算対象症例の条件

下記の条件を満たす症例について、術後死亡等の発症確率が計算されます。
条件を満たしていない場合は、発症確率は表示されません。

結腸右半切除術 リスク計算対象症例

NCD術式1～8のいずれかで、次のNCD術式が選択されている場合
(ただし、NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合は、対象となる消化器外科術式の選択が必須)

・ 2015年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合	特記事項
OQ0312	結腸切除術(結腸半側切除)	結腸右半切除術	
NQ0548	結腸切除術(悪性腫瘍)(単純切除)	結腸右半切除術	
NQ0550	結腸切除術(悪性腫瘍)(広汎切除)	結腸右半切除術	
OQ0323	結腸切除術(悪性腫瘍)(腹腔鏡下)	結腸右半切除術	
OQ0326	結腸切除術(腹腔鏡下)	結腸右半切除術	

・ 2014年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合	特記事項
OQ0312	結腸切除術(結腸半側切除)	結腸右半切除術	
NQ0548	結腸切除術(悪性腫瘍)(単純切除)	結腸右半切除術	
NQ0550	結腸切除術(悪性腫瘍)(広汎切除)	結腸右半切除術	
OQ0323	結腸切除術(悪性腫瘍)(腹腔鏡下)	結腸右半切除術	
OQ0326	結腸切除術(腹腔鏡下)	結腸右半切除術	

・ 2013年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合	特記事項
OQ0312	結腸切除術(結腸半側切除)	結腸右半切除術	NCD術式名の変更があるが、NCD術式コードは変更ないため、FBでは変更なし。
NQ0548	結腸切除術(悪性腫瘍)(単純切除)	結腸右半切除術	OQ0321からの変更
NQ0550	結腸切除術(悪性腫瘍)(広汎切除)	結腸右半切除術	OQ0322からの変更
OQ0323	結腸切除術(悪性腫瘍)(腹腔鏡下)	結腸右半切除術	NCD術式名の変更があるが、NCD術式コードは変更ないため、FBでは変更なし。
OQ0326	結腸切除術(腹腔鏡下)	結腸右半切除術	

※2013年より下記は削除

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合	特記事項
OQ0321	小腸または結腸悪性腫瘍手術 1. 切除、単純	結腸右半切除術	
OQ0322	小腸または結腸悪性腫瘍手術 2. 切除、広汎	結腸右半切除術	
OQ0327	結腸悪性腫瘍手術(腹腔鏡による)	結腸右半切除術	

・ 2012年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合	特記事項
OQ0312	結腸切除術 3. 結腸半側切除	結腸右半切除術	
OQ0321	小腸または結腸悪性腫瘍手術 1. 切除、単純	結腸右半切除術	
OQ0322	小腸または結腸悪性腫瘍手術 2. 切除、広汎	結腸右半切除術	
OQ0323	腹腔鏡下結腸切除術、(進行)悪性腫瘍手術	結腸右半切除術	
OQ0326	結腸良性腫瘍手術(腹腔鏡による)	結腸右半切除術	
OQ0327	結腸悪性腫瘍手術(腹腔鏡による)	結腸右半切除術	

・ 2011年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合	特記事項
OQ0312	結腸切除術 3. 結腸半側切除	結腸右半切除術	
OQ0322	小腸または結腸悪性腫瘍手術 2. 切除、広汎	結腸右半切除術	
OQ0323	腹腔鏡下結腸切除術、(進行)悪性腫瘍手術	結腸右半切除術	
OQ0326	結腸良性腫瘍手術(腹腔鏡による)	結腸右半切除術	
OQ0327	結腸悪性腫瘍手術(腹腔鏡による)	結腸右半切除術	

NCD消化器外科領域・リスクモデル 計算対象症例の条件

下記の条件を満たす症例について、術後死亡等の発症確率が計算されます。
条件を満たしていない場合は、発症確率は表示されません。

低位前方切除術 リスク計算対象症例

NCD術式1～8のいずれかで、次のNCD術式が選択されている場合
(ただし、NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合は、対象となる消化器外科術式の選択が必須)

・ 2015年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0366	直腸悪性腫瘍手術(単純切除)	低位前方切除術	
OQ0368	直腸悪性腫瘍手術(広汎切除)(低位)		
OQ0369	超低位直腸前方切除術(経肛門的結腸囊肛門吻合)		
NQ0589	腹腔鏡下低位前方切除術(早期直腸癌)		
OQ0371	直腸切除術	低位前方切除術	

・ 2014年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0366	直腸悪性腫瘍手術(単純切除)	低位前方切除術	
OQ0368	直腸悪性腫瘍手術(広汎切除)(低位)		
OQ0369	超低位直腸前方切除術(経肛門的結腸囊肛門吻合)		
NQ0589	腹腔鏡下低位前方切除術(早期直腸癌)		
OQ0371	直腸切除術	低位前方切除術	

・ 2013年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0366	直腸悪性腫瘍手術(単純切除)	低位前方切除術	
OQ0368	直腸悪性腫瘍手術(広汎切除)(低位)		
OQ0369	超低位直腸前方切除術(経肛門的結腸囊肛門吻合)		
NQ0589	腹腔鏡下低位前方切除術(早期直腸癌)		OQ0372からの変更
OQ0371	直腸切除術	低位前方切除術	NCD術式名の変更があるが、NCD術式コードは変更ないため、FBでは変更なし。

※2013年より下記は削除

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0372	内視鏡下低位前方切除術(早期直腸癌)	低位前方切除術	

・ 2012年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0366	直腸悪性腫瘍手術 1. 切除、単純	低位前方切除術	
OQ0368	直腸悪性腫瘍手術 3. 切除、広汎(低位)		
OQ0369	経肛門的結腸囊肛門吻合による超低位前方切除術		
OQ0372	内視鏡下低位前方切除術(早期直腸癌)		
OQ0371	腹腔鏡下直腸切除術	低位前方切除術	

・ 2011年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0366	直腸悪性腫瘍手術 1. 切除、単純	低位前方切除術	
OQ0368	直腸悪性腫瘍手術3. 切除、広汎(低位)		
OQ0369	経肛門的結腸囊肛門吻合による超低位前方切除術		
OQ0372	内視鏡下低位前方切除術(早期直腸癌)		
OQ0371	腹腔鏡下直腸切除術	低位前方切除術	

NCD消化器外科領域・リスクモデル 計算対象症例の条件

下記の条件を満たす症例について、術後死亡等の発症確率が計算されます。
条件を満たしていない場合は、発症確率は表示されません。

肝切除術 リスク計算対象症例

NCD術式1～8のいずれかで、次のNCD術式が選択されている場合
(ただし、NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合は、対象となる消化器外科術式の選択が必須)

・ 2015年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合	特記事項
NQ0505	胆嚢悪性腫瘍手術(亜区域4a+5以上の肝切除を伴う)	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	
OQ0224	肝切除術(2区域切除)		
OQ0225	肝切除術(3区域切除)		
OQ0226	肝切除術(血行再建を併う)		
NQ0512	肝切除術(1区域切除)(外側区域切除をのぞく)		
OQ0229	肝切除術(亜区域・区域切除)(腹腔鏡下)	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	
OQ0232	胆管悪性腫瘍切除術(肝切除を伴う)	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	
NQ0584	肝尾状葉切除術		

・ 2014年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合	特記事項
NQ0505	胆嚢悪性腫瘍手術(亜区域4a+5以上の肝切除を伴う)	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	
OQ0224	肝切除術(2区域切除)		
OQ0225	肝切除術(3区域切除)		
OQ0226	肝切除術(血行再建を併う)		
NQ0512	肝切除術(1区域切除)(外側区域切除をのぞく)		
OQ0229	肝切除術(亜区域・区域切除)(腹腔鏡下)	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	
OQ0232	胆管悪性腫瘍切除術(肝切除を伴う)	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	
NQ0584	肝尾状葉切除術		

・ 2013年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合	特記事項
NQ0505	胆嚢悪性腫瘍手術(亜区域4a+5以上の肝切除を伴う)	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	OQ0189からの変更
OQ0224	肝切除術(2区域切除)		
OQ0225	肝切除術(3区域切除)		NCD術式名の変更があるが、NCD術式コードは変更ないため、FBでは変更なし。
OQ0226	肝切除術(血行再建を併う)		
NQ0512	肝切除術(1区域切除)(外側区域切除をのぞく)		OQ0223からの変更
OQ0229	肝切除術(亜区域・区域切除)(腹腔鏡下)	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	
OQ0232	胆管悪性腫瘍切除術(肝切除を伴う)	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	NCD術式名の変更があるが、NCD術式コードは変更ないため、FBでは変更なし。
NQ0584	肝尾状葉切除術		2013年術式改訂に伴い追加

※2013年より下記は削除

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1:nの場合	特記事項
OQ0189	胆嚢悪性腫瘍手術 2. 肝切除を伴うもの	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	OQ0189は、2013年改訂によりNQ0504、NQ0505に変更となった。 (なお、フィードバック機能の肝切除術の対象術式・リスク因子としては、NQ0504のみ非該当)
OQ0223	肝切除術 2. 1区域切除	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	OQ0223は、2013年改訂によりNQ0510、NQ0511、NQ0512に変更となった。 (フィードバック機能の肝切除術の対象術式としては、NQ0510、NQ0511は、「肝切除術(外側区域を除く区域以上)」は非該当)

肝切除術 リスク計算対象症例

NCD術式1～8のいずれかで、次のNCD術式が選択されている場合
 (ただし、NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合は、対象となる消化器外科術式の選択が必須)

・ 2012年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0189	胆嚢悪性腫瘍手術 2. 肝切除を伴うもの	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	
OQ0223	肝切除術 2. 1区域切除	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	
OQ0224	肝切除術 3. 2区域切除		
OQ0225	肝切除術 4. 3区域切除		
OQ0226	肝切除術 4. 3区域切除		
OQ0229	腹腔鏡下肝切除術 2. 亜区域・区域切除	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	
OQ0232	肝外胆道切除 3. 肝切除を伴うもの	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	

・ 2011年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0189	胆嚢悪性腫瘍手術 2. 肝切除を伴うもの	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	
OQ0223	肝切除術2. 1区域切除		
OQ0224	肝切除術3. 2区域切除		
OQ0225	肝切除術4. 3区域切除		
OQ0226	肝切除術5. 血行再建を併せ行う	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	
OQ0229	腹腔鏡下肝切除術2. 亜区域・区域切除	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	
OQ0232	肝外胆道切除3. 肝切除を伴うもの	肝切除術(外側区域を除く区域以上)	

NCD消化器外科領域・リスクモデル 計算対象症例の条件

下記の条件を満たす症例について、術後死亡等の発症確率が計算されます。
条件を満たしていない場合は、発症確率は表示されません。

膵頭十二指腸切除術 リスク計算対象症例

NCD術式1～8のいずれかで、次のNCD術式が選択されている場合
(ただし、NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合は、対象となる消化器外科術式の選択が必須)

・ 2015年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0269	膵頭十二指腸切除術		
NQ0521	膵頭十二指腸切除術(リンパ節・神経叢郭清を伴う)		
OQ0271	膵頭十二指腸切除術(周辺臓器の合併切除を伴う)		
OQ0272	膵頭十二指腸切除術(動脈もしくは門脈再建を伴う)		
OQ0190	胆嚢悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除を伴う)		

・ 2014年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0269	膵頭十二指腸切除術		
NQ0521	膵頭十二指腸切除術(リンパ節・神経叢郭清を伴う)		
OQ0271	膵頭十二指腸切除術(周辺臓器の合併切除を伴う)		
OQ0272	膵頭十二指腸切除術(動脈もしくは門脈再建を伴う)		
OQ0190	胆嚢悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除を伴う)		

※下記は削除

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OT0154	膵全摘術(動脈もしくは門脈再建を伴う)	膵頭十二指腸切除術	2014年改訂で消化器外科術式の紐付が解除され、消化器外科共通項目の対象術式となったため。

・ 2013年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0269	膵頭十二指腸切除術		NCD術式名の変更があるが、NCD術式コードは変更ないため、FBでは変更なし。
NQ0521	膵頭十二指腸切除術(リンパ節・神経叢郭清を伴う)		OQ0270からの変更
OQ0271	膵頭十二指腸切除術(周辺臓器の合併切除を伴う)	膵頭十二指腸切除術	NCD術式名の変更があるが、NCD術式コードは変更ないため、FBでは変更なし。
OQ0272	膵頭十二指腸切除術(動脈もしくは門脈再建を伴う)	膵頭十二指腸切除術	
OT0154	膵全摘術(動脈もしくは門脈再建を伴う)	膵頭十二指腸切除術	
OQ0190	胆嚢悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除を伴う)		

※2013年より下記は削除

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0268	膵頭十二指腸切除術		

・ 2012年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0268	膵頭十二指腸切除術		
OQ0269	膵頭部腫瘍切除術 1. 膵頭十二指腸切除術		
OQ0270	膵頭部腫瘍切除術 2. リンパ節・神経叢郭清を伴うもの又は十二指腸温存膵頭切除術	膵頭十二指腸切除術	
OQ0271	膵頭部腫瘍切除術 3. 周辺臓器の合併切除を伴うもの	膵頭十二指腸切除術	
OQ0272	膵頭部腫瘍切除術 4. 血行再建を伴うもの	膵頭十二指腸切除術	
OT0154	膵頭十二指腸切除もしくは全摘術に血行再建を伴う場合	膵頭十二指腸切除術	
OQ0190	胆嚢悪性腫瘍手術 3. 膵頭十二指腸切除を伴うもの		

膵頭十二指腸切除術 リスク計算対象症例

NCD術式1～8のいずれかで、次のNCD術式が選択されている場合
 (ただし、NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合は、対象となる消化器外科術式の選択が必須)

・ 2011年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0268	膵頭十二指腸切除術		
OQ0269	膵頭部腫瘍切除術 1. 膵頭十二指腸切除術		
OQ0270	膵頭部腫瘍切除術 2. リンパ節・神経叢郭清を伴うもの又は 十二指腸温存膵頭切除術	膵頭十二指腸切除術	
OQ0271	膵頭部腫瘍切除術 3. 周辺臓器の合併切除を伴うもの	膵頭十二指腸切除術	
OQ0272	膵頭部腫瘍切除術 4. 血行再建を伴うもの	膵頭十二指腸切除術	
OT0154	膵頭十二指腸切除もしくは全摘術に血行再建を伴う場合	膵頭十二指腸切除術	
OQ0190	胆嚢悪性腫瘍手術 3. 膵頭十二指腸切除を伴うもの		

NCD消化器外科領域・リスクモデル 計算対象症例の条件

下記の条件を満たす症例について、術後死亡等の発症確率が計算されます。
条件を満たしていない場合は、発症確率は表示されません。

急性汎発性腹膜炎手術 リスク計算対象症例

NCD術式1～8のいずれかで、次のNCD術式が選択されている場合
(ただし、NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合は、対象となる消化器外科術式の選択が必須)

・ 2015年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0088	急性汎発性腹膜炎手術（腹腔内貯留膿汁の処置および排膿誘導術）		
OQ0089	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術		

・ 2014年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0088	急性汎発性腹膜炎手術（腹腔内貯留膿汁の処置および排膿誘導術）		
OQ0089	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術		

・ 2013年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0088	急性汎発性腹膜炎手術（腹腔内貯留膿汁の処置および排膿誘導術）		
OQ0089	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術		

・ 2012年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0088	急性汎発性腹膜炎手術（腹腔内貯留膿汁の処置および排膿誘導術）		
OQ0089	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術		

・ 2011年症例

NCD術式コード	NCD術式名	消化器外科術式名 ※NCD術式:消化器外科術式=1.nの場合	特記事項
OQ0088	急性汎発性腹膜炎手術（腹腔内貯留膿汁の処置および排膿誘導術）		
OQ0089	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術		

改定履歴

版	更新日	更新内容
第1.00版	2014/4/1	初版作成(対象術式:胃全摘術)
第1.01版	2014/4/28	膵頭十二指腸切除術の情報を新規追加
第1.02版	2014/11/6	以下の術式に関する情報を新規追加 <ul style="list-style-type: none"> ・肝切除術 ・結腸右半切除術 ・食道切除再建術
第1.03版	2014/12/11	以下の術式に関する情報を新規追加 <ul style="list-style-type: none"> ・低位前方切除術 以下を修正 [肝切除術] <ul style="list-style-type: none"> ・2013年症例: OQ0189の特記事項を修正 [修正前]: 両方とも非該当 [修正後]: 「NQ0504」のみ非該当 ・2013年症例: NQ0505を追加 ・2014年症例: NQ0505を追加
第1.04版	2015/1/8	2015年症例の追加 以下を修正 [膵頭十二指腸切除術] <ul style="list-style-type: none"> ・2014年症例: OT0154を削除
第1.05版	2015/3/26	以下の術式に関する情報を新規追加 <ul style="list-style-type: none"> ・急性汎発性腹膜炎
第1.06版	2015/5/12	術式表記順を消化器外科領域専門医術式に揃えるため変更

「FeedBack機能」操作マニュアル

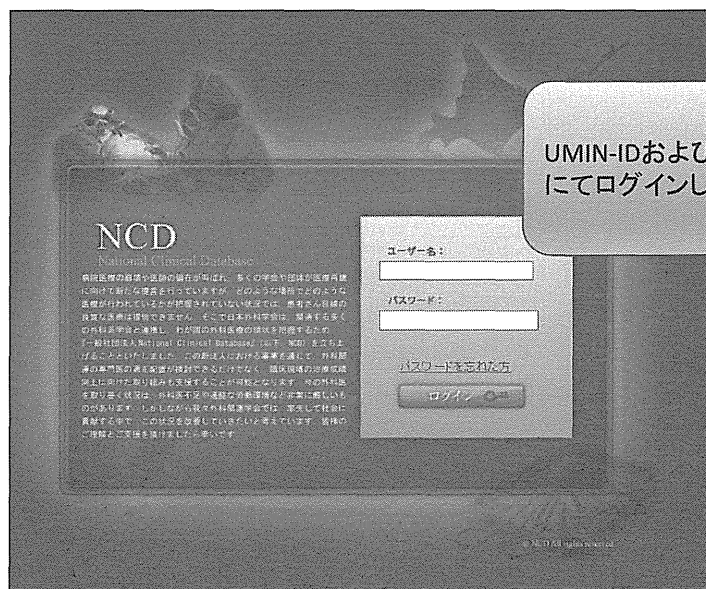
1.00版

1. ログイン



下記のURLから症例登録画面にログインしてください。

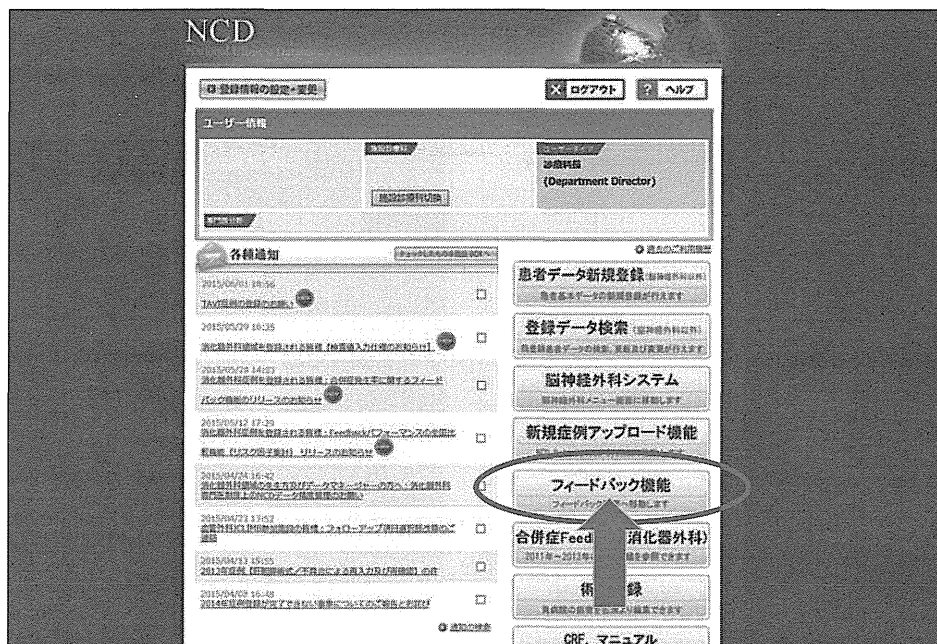
【症例登録画面URL】
<https://registry3.ncd.or.jp/karte/htmldoc/login.html>



UMIN-IDおよびINDICEパスワード
にてログインしてください。

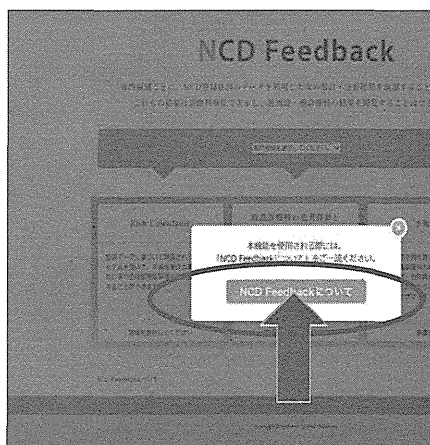
2. フィードバック機能の選択

「フィードバック機能」ボタンを押下します。



3. 概要確認 1/2

ログインしたら、まず「NCD FeedBackについて」を押下し、表示された内容をご一読ください。



The screenshot shows the 'NCD Feedback' page. A red circle highlights the 'NCD Feedbackについて' button. The page content includes:

NCD Feedback 専門領域: 未選択

NCD Feedback について

「NCD Feedback」とは、一般社団法人National Clinical Database (以下、NCD) の参加医療機関・医療従事者の皆様への医療の質向上の取り組みの一環として情報提供を行う機能の総称です。本機能の管理・運営はNCDが行っています。
※機能の利用について

本機能の利用は、NCDへ登録された診療科長・主任医師のみが対象となります。
そのため、データマネージャーの方々は使用できません。
本機能は、参加医療機関・医療従事者の皆様の医療の質向上の取り組みの目的でのみ使用し、次のような利用は行わないでください。


- マスコミ等への情報提供
- 本機能で提供される情報の二次利用による調査・研究

本機能のうち、「手術を受ける患者の術後死亡や合併症の予測率の計算機能」を利用する場合は、以下について留意してください。

- 予測率の計算は、NCDのデータに基づいて構築されたリスクモデルをもとに、開発されています。
- リスクモデルの算出は、各機能のページ内に掲載された資料で、確認することができます。
- 特に、患者さんのインフォームド・コンセントでご利用される場合など、あくまでも予測値であることをご理解のうえ、ご活用ください。
- パフォーマンス指標の各項目比較の画面で表示される「施設別の専門科パフォーマンス指標の結果」は、報告期間の症例数が少ない場合、推定結果の精度が低くなる場合がございます。
結果を解釈する際には、十分ご留意のうえご利用ください。

問い合わせ
本機能に関する問い合わせは、NCD事務局までお願いします。
<https://info.ncd.ac.jp/ncd/contact/>

TOPへ戻る

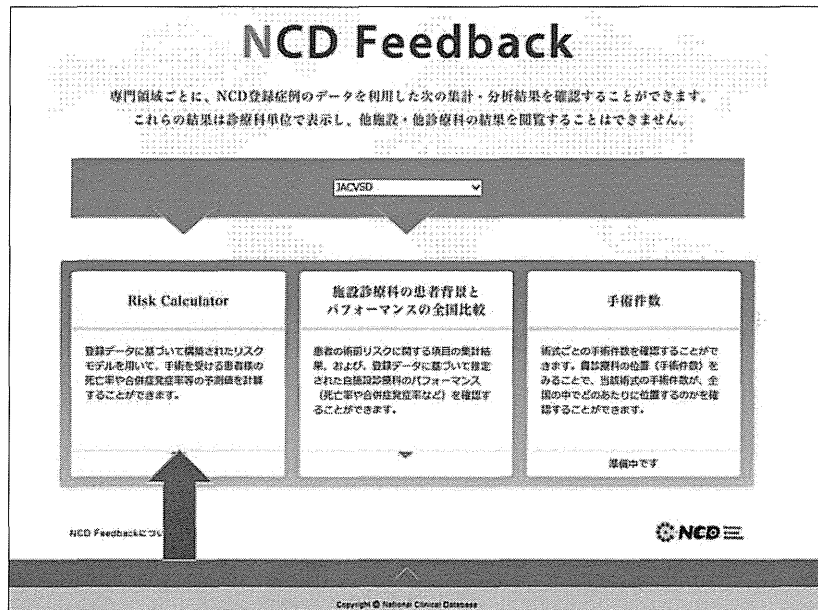
NCD Feedbackについて 

Copyright © National Clinical Database

5. Risk Calculator 1/5

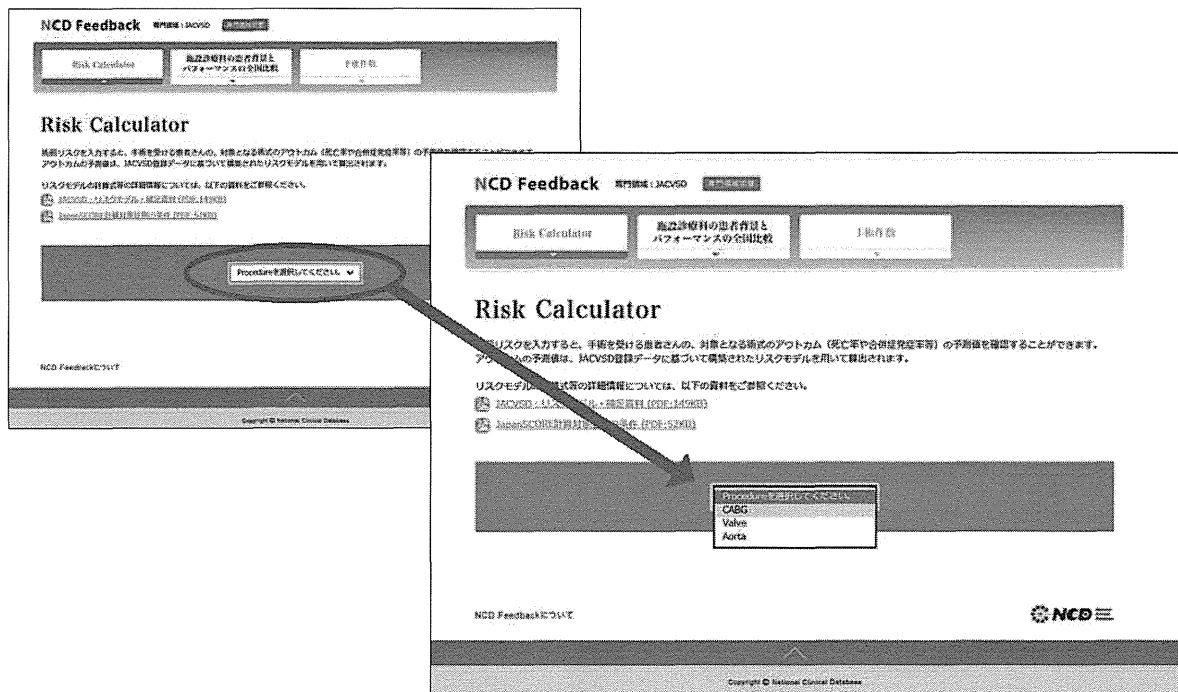
「Risk Calculator」を押下します。

(手術を受ける患者さんの情報を入力することで、対象となる術式のアウトカム(死亡率や合併症発症率等)の予測値確認が出来る機能です。)



5. Risk Calculator 2/5

「Proceduce」から術式を選択します。



5. Risk Calculator 3/5

選択術式の下に術前リスク項目が表示されます。各項目を入力してください。

リスク項目の選択術式の下に術前リスク項目が表示されます。各項目を入力してください。

リスク項目の選択術式の下に術前リスク項目が表示されます。各項目を入力してください。

5. Risk Calculator 4/5

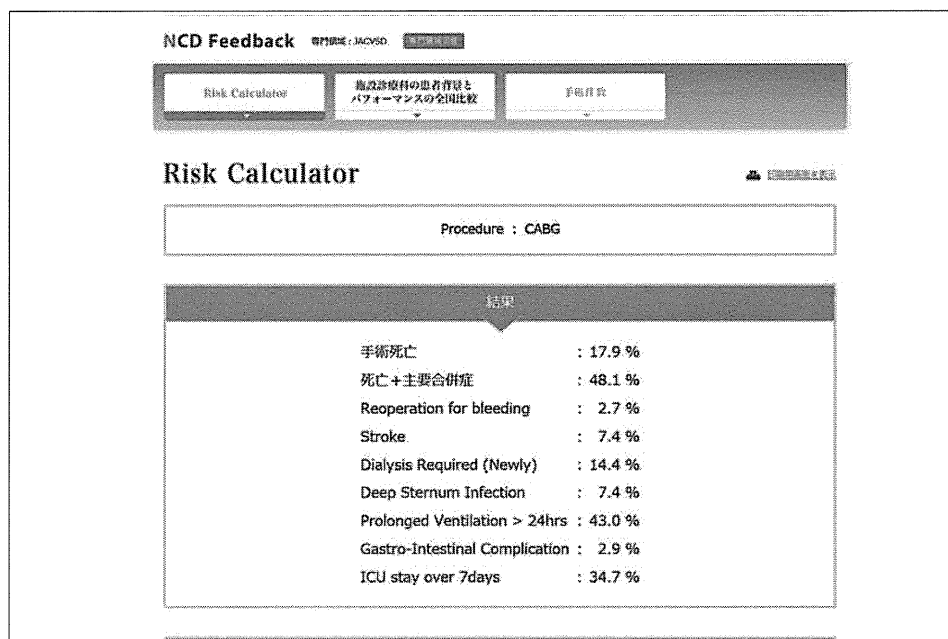
術前リスク項目を全て入力した後、「Submit」ボタンを押下します。
(空欄がある場合、その項目は「リスクなし」として計算されます。)

術前リスク項目を全て入力した後、「Submit」ボタンを押下します。
(空欄がある場合、その項目は「リスクなし」として計算されます。)

Submit

5. Risk Calculator 5/5

結果が表示されます。



NCD Feedback 専門領域: JACSVD 施設領域: 消化器科

Risk Calculator 施設診療科の患者背景とパフォーマンスの全国比較 手術件数

Risk Calculator

Procedure : CABG

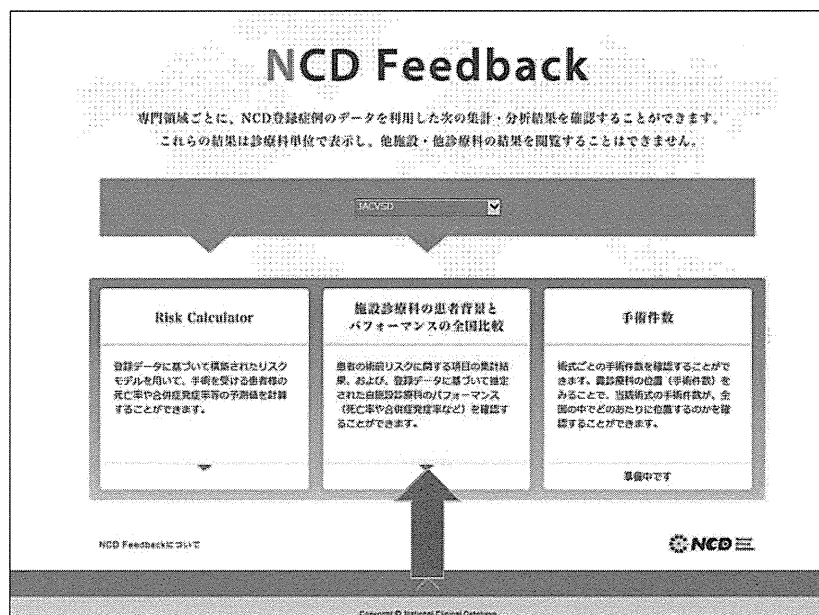
結果

手術死亡	: 17.9 %
死亡+主要合併症	: 48.1 %
Reoperation for bleeding	: 2.7 %
Stroke	: 7.4 %
Dialysis Required (Newly)	: 14.4 %
Deep Sternum Infection	: 7.4 %
Prolonged Ventilation > 24hrs	: 43.0 %
Gastro-Intestinal Complication	: 2.9 %
ICU stay over 7days	: 34.7 %

5. パフォーマンス指標 1/4

「施設診療科の患者背景とパフォーマンスの全国比較」を押下します。

自施設診療科の患者さんの背景とパフォーマンス指標を確認することが出来る機能。
全国と比較することで、自施設診療科がどのような傾向・特徴をもっているか、把握することが可能。




NCD Feedback

専門領域ごとに、NCD登録症例のデータを利用した次の集計・分析結果を確認することができます。
これらの結果は診療科単位で表示し、他施設・他診療科の結果を閲覧することはできません。

TRACSD

Risk Calculator 登録データに基づいて算出されたリスクモデルを用いて、手術を受ける患者様の死亡率や合併症発生率等の予測値を計算することができます。	施設診療科の患者背景とパフォーマンスの全国比較 自施設の病期リスクに際する項目の集計結果、および、登録データに基づいて設定された自施設診療科のパフォーマンス（死亡率や合併症発生率など）を確認することができます。	手術件数 施設ごとの手術件数を確認することができます。施設別の位置（手術台数）をみることで、当該施設の手術台数が、全国の中でどのあたりに位置するのかが確認することができます。
--	---	---

NCD Feedbackについて

 NCD

Copyright © National Clinical Database

5. パフォーマンス指標 2/4

照会期間を設定し、「Submit」を押下します。

The screenshots show the 'NCD Feedback' interface for '施設診療科の患者背景とパフォーマンスの全国比較'. The search criteria are set to 'Year: 2013', 'Month: 1', 'Day: 1' to 'Year: 2015', 'Month: 3', 'Day: 31'. A 'Submit' button is visible below the date range.

6. パフォーマンス指標 3/4

選択した期間内における貴施設診療科の【総データ件数(総手術件数)】、【未完了件数(登録作業が完了されなかった件数)】、【集計対象外の症例数(登録拒否申請のあった症例数)】、【各手術件数】が、ご確認いただけます。

The screenshot shows the search results for the period 2013/1/1 to 2015/3/31. The results are displayed in a table format:

照会期間
期間A : 2013/1/1 ~ 2015/3/31 (総データ件数: 52, 未完了件数: 0, 集計対象外の症例数: 11, 集計症例件数: 41 (CABG: 14, Valve: 15, Aorta: 12))

Below the table, there are filters for 'CABG | Valve | Aorta' and a 'Submit' button. The footer text reads: '貴施設診療科で「CABG」を受けた患者についての、パフォーマンス指標およびリスク因子の分析結果を確認することができます。'

6. パフォーマンス指標 4/4

術式を選択します。
各術式に合わせた結果が下記に表示されます。

画面の矢印以下に結果が表示されます。
表示結果の詳細につきましては次ページ以降をご参照ください。

7. パフォーマンス指標表示解説 (1/3)

パフォーマンス指標

貴施設診療科で選択期間内に実施した手術症例数

貴施設診療科の「術後30日に亡くなった症例数」

イベント症例数
全症例数

観察された発生率

予測された発生率

対象期間	イベント	全症例数	イベント症例数	観察されたイベントの発生率	予測されたイベント発生率
期間A	術後30日死亡	4	1	25.0%	37.47%
	手術関連死亡	4	2	50.0%	30.93%

アウトカム

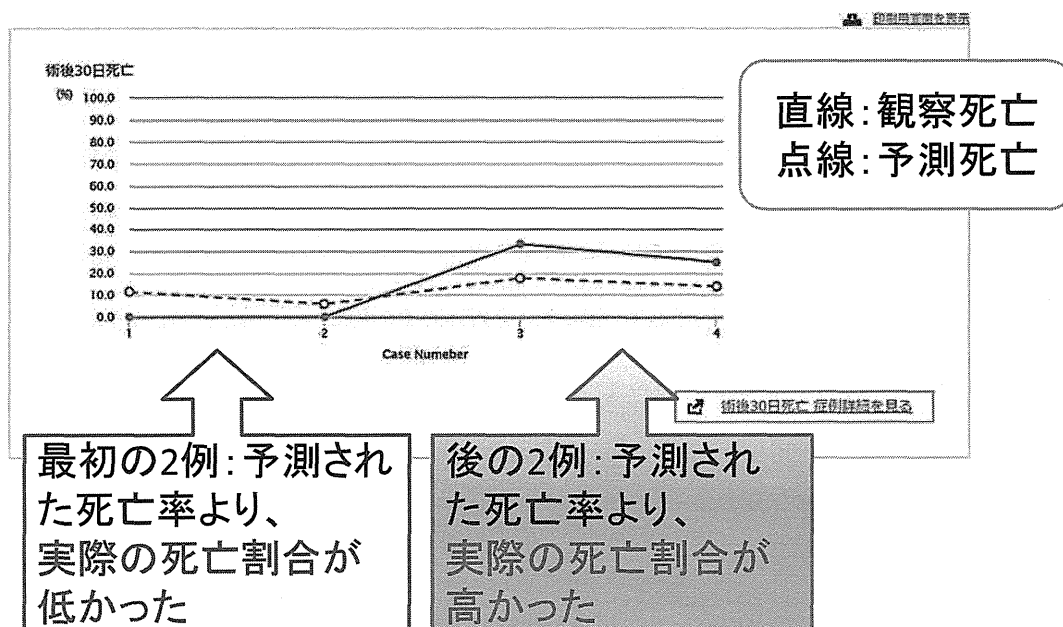
術後30日死亡: 0.67

手術関連死亡: 1.64

OE比

1より小さい場合: 貴施設の実施成績が予測より良い
1より大きい場合: 貴施設の実施成績は予測を下回る

7. パフォーマンス指標表示解説 (2/3)



7. パフォーマンス指標表示解説 (3/3)

リスクモデルに組み込まれている要素について、各施設診療科にて手術を行っている患者さんの特徴を全国と比較することが可能。

パフォーマンス指標

リスク四子の集計結果

手術リスク

選択された術後自施設診療科の患者との対比

リスク因子の要素とリスクとなる基準値

自施設診療科を受診した患者の人数と割合

リスクモデルを作成した際の全国値

リスク因子	選択肢または入力値	自施設診療科		全国	
		期間A (N=14)		2005~2009年 (N=24,704)	
患者性別	男性	0	0.0%	19,144	77.5%
手術時年齢	[]歳	60.4	11.0	68.3	9.5
体表面積	[]㎡	1.7	0.0	1.6	0.2
喫煙歴	Yes	1	7.1%	13,253	53.6%
現在喫煙歴 (術前一月以内に喫煙歴があるもの)	Yes	1	7.1%	4,716	19.1%
糖尿病	Yes	5	35.7%	12,318	49.9%
糖尿病治療	あり	5	35.7%	10,329	41.8%
腎機能障害の既往	Yes	0	0.0%	3,294	13.3%
慢性透析	Yes	0	0.0%	1,711	6.9%
高血圧の既往	Yes	0	0.0%	18,489	74.8%
慢性心臓病	Mild Moderate Severe	2	14.3%	1,727	7.0%

Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表